

事務事業名	旧飯田測候所活用事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	26 終了		
H29作成課等名	環境モデル都市推進課	H29係等名	地球温暖化対策係	H28担当課等名	環境モデル都市推進課			
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり					
	施策	55	日常的な環境負荷低減活動の展開					
目的	対象(誰・何を)	市民		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	地域自治活動及び環境学習の拠点とすることによるコミュニティの涵養及び温室効果ガス削減			飯田市の人口		100957	
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体の温室効果ガス排出量						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	温室効果ガス削減量(トン)		2671.3	3498.7	2576.1	2480	
	成果指標	温室効果ガス削減容量増加(トン/年)		1793.2	2014.4	1824.1	1023	
定性目標								
事業概要	リンゴ並木のエコハウスに次ぐ飯田市の環境拠点及び地域コミュニティ活動の場として活用するため、地域の歴史に根差した施設である旧飯田測候所を橋北地区住民の活動の場として活用し、及び指定管理者及び施設使用者である「おひさま進歩エネルギー株式会社」の実績と知見を活用し、これを増強すべく、環境に係る大学機関、研究機関などとの連携により、知見の集約を行った。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 旧飯田測候所の管理運営(指定管理) (1)うち、飯田測候所を活用した、環境学習事業やセミナーの実施 (2)うち、地区住民による施設を活用した会合等の実施			1 来場組数・来場者数 (1) 実施回数 (2) 利用回数		1 256組・2,467人 (1) 33回 (2) 21回		
	2 施設修繕にかかった経費			2 年間修繕総額		2 759,240円		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	5,014	5,784	5,781	0	[28特定財源] (そ)財産収入			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他	966	965	966					
一般財源	4,048	4,819	4,815					
人件費計(千円)②	3,576	3,576	3,576	0				
正規職員所要時間	1,000	1,000	1,000					
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	8,590	9,360	9,357	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	市の施設として市民等に見学・利用できるよう整備がされ、平成26年度からは指定管理制度の導入を行っているが、担当課として指定管理者とも協議を重ね、よりよい施設の維持管理や運営方法等について試行錯誤してきたが、運営体制も落ち着きを見せ、結果、施設利用者が増加した。 また、飯田市の環境教育の拠点として、市役所本庁舎屋根貸し太陽光発電事業の売電収益の一部を活用した、飯田自然エネルギー大学を開設し、全国から志のある受講生を対象に日一回開催するなど、更なる環境教育の拠点構築に向けての取組							
改革改善の考え方	①問題点	明治期に建築された施設は、建物の不具合箇所も多く、老朽化による予期せぬ改修等が発生する。						
	②改革提案	国の登録有形文化財の価値と環境学習の拠点としての両側面から、施設利用者の安全性を保ちつつ、計画的な保全と維持改修が必要。						